

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

東京における循環器救急医療の検証

研究計画

(1)背景・意義

Coronary Care Unit (CCU) は 1960 年代に急性心筋梗塞患者の救急集中治療を目的に運用が開始された。東京都 CCU 連絡協議会も東京都の支援の基、1970 年代にその活動を開始し急性心筋梗塞患者の命を守る救急医療に邁進してきた。そして、救急医療体制の構築と急性心筋梗塞の再灌流療法の普及にともない急性心筋梗塞の院内死亡率は発足当初の 20%前後から 2000 年には 6%前後と改善した。しかし、大都市・東京では新たな課題が出現してきた。高齢化社会に突入したわが国・東京では急性心筋梗塞ばかりでなく不安定狭心症を含む急性冠症候群、急性心不全（慢性心不全急性増悪を含む）、不整脈、大動脈疾患、肺塞栓症、急性心筋炎、たこつぼ心筋症、心血管原性ショック・心停止などの循環器緊急症の救急医療の構築が課題となってきた。このため、今日では東京都 CCU ネットワークは Cardiovascular Care Unit として循環器緊急症に陥った東京都民の命を守る役割を担ってその活動を強化している。それぞれの地域の循環器緊急症の救急医療の質を向上させるには、それぞれの国・地域にあった循環器救急医療体制を検証し構築することが必要である。ある国やある都市において“最適”の循環器救急医療体制が、大都市・東京に当てはまるか否かは絶えず検証し構築していく必要がある。大都市・東京の循環器緊急症の救急医療を展開していくには、東京都 CCU ネットワークに収容した循環器緊急症患者を自ら検証・審査し、そしてたえずその構築をしていく必要であると考えます。

(2)目的

心臓循環器救急処置向上のための基礎診療データの収集

(3)方法

当院 CCU に収容された患者の疾患名、年齢、性別、生存の有無、急性心筋梗塞患者では Killip 分類をカルテから収集して、東京都 CCU 連絡協議会に報告する。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないよう匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

循環器科 主任医長 門平忠之